



おわりに



最後まで読んでくださりありがとうございます。

セブンスという競技に、少しは興味を持っていただけましたでしょうか？

2019年、ラグビーワールドカップ日本大会が大成功したことで、日本ラグビーは新たなステージに移行しました。

2022年からは15人制の**新リーグ**も開設される予定で、まさに**ラグビー新時代**の幕開けです。

府中市・調布市・三鷹市は、この新リーグに参戦する「東芝プレイブルーパス」「サントリーサンゴリアス」と一致団結して、これから更にラグビーを盛り上げていきたいと思っています。

その一環として、今回は「セブンスガイドブック」を製作しました。

オリンピックだけでなく、ワールドカップセブンスや、ワールドセブンスシリーズの観戦時にもご活用いただけますと幸いです。

スポーツのチカラで、このコロナ禍をみんなで乗り越えていけることを願っています。

ラガマルくんのラグビーセブンスガイドブック

令和3年（2021年）6月発行

発行：府中市・調布市・三鷹市 ※本事業は多摩島しょ広域連携活動助成金を活用しています。

著者：今江正城

イラスト：中村直人

協力：ラガマルくん（Twitter @ragamarukun）・公益財団法人日本ラグビーフットボール協会

印刷：凸版印刷株式会社

本誌掲載の記事、写真、イラストの無断複写、複製、転写を禁じます。

掲載しているルール等は、2021年現在のものです。

2016

リオデジャネイロオリンピック (男子・女子) 4年に1度 7人制

7人制ラグビーが夏季オリンピックの正式競技に採用された最初の年。出場国は男女ともに12チームで、それぞれ3日間に渡って勝敗を競う。記念すべき第1回王者は、男子がフィジー。女子がオーストラリア。

2017

セブンスワールドシリーズ (男子・女子) 毎年開催 7人制

香港やドバイ・ケープタウンなど、世界を回る「サーキット方式」で、1999年より毎年開催されているワールドシリーズ。大会ごとに成績に応じたポイントが加算され、その合計ポイントでシリーズチャンピオンを決定する。

2018

ワールドカップセブンスアメリカ大会 (男子・女子) 4年に1度 7人制

1993年に創設された、7人制ラグビーの世界大会。2009年からは女子の部も開催され、男子24チーム・女子16チームで世界一を争う。セブンスがオリンピックに採用されるのに伴い、一時は大会終了が議論されたが、オリンピックとの隔年開催として継続が決定。

2019

ラグビーワールドカップ日本大会 (男子) 4年に1度 15人制

日本中が熱狂した15人制ラグビーの世界大会。男子日本代表は史上初の「ベスト8」に進出し、新たな歴史を刻んだ。日本ラグビーフットボール協会はワールドカップを再招致して優勝することを目標に掲げている。

2020

東京2020オリンピック (男子・女子) 4年に1度 7人制

新型コロナウイルスの影響で2021年に延期となった東京オリンピック。前回大会では男子日本代表が4位、女子日本代表が10位だった。本大会では男女ともに初のメダル獲得を目指す。試合日程は男子が2021年7月26～28日、女子が7月29～31日の予定。

2021

ラグビーワールドカップニュージーランド大会 (女子) 4年に1度 15人制

女子ラグビー(15人制)の世界一を決定するワールドカップ。男子ワールドカップの2年後となる2021年に開催予定だったが、新型コロナウイルスの影響で2022年に延期が決定。女子日本代表は「アジア予選枠」での出場を目指す。

2022

ワールドカップセブンス南アフリカ大会 (男子・女子) 4年に1度 7人制

優勝チームには、セブンス発祥の地「メルローズ(スコットランドの地名)」にちなんだメルローズカップというトロフィーが贈られる本大会。直近の2大会(2013・2018)では、男女ともにニュージーランド代表がメルローズカップを手に入れている。

2023

ラグビーワールドカップフランス大会 (男子) 4年に1度 15人制

男子15人制日本代表の更なる躍進が期待されている本大会。2020年12月にグループ分けの抽選が行われ、日本代表は強豪のアルゼンチン、そして前回準優勝のイングランドと対戦することが決まった。